

## 学校関係者評価を受けて学校としての今後の取り組みについて

(令和元年6月24日職員会議にて確認)

学校関係者評価委員会において、自己評価のまとめに対して考察をいただいたが、それを受け以下の通り今後の取り組みを考えた。

重点努力目標達成のための具体的取り組み

### 1. 基礎学力の充実と基本的生活習慣の確立

- ・平日の進学課外、土曜日（今後は特進課外）の効果的な実施をする。
- ・基礎学力の向上に努力する。マナトレの実施・活用を徹底する。全職員で指導助言に務め、放課後学習の実施計画を立てる。データのまとめにより対策を具体的にする。
- ・進路に関する集会・ガイダンスを実施する。活躍する卒業生による体験発表会（おかえり先輩）など積極的に実施する。
- ・新学習指導要領及び、新しい大学入試システムに関する職員研修については、引き続き積極的な実施を考える。アクティブラーニング、ICT活用に対する研修の実施や外部研修会への参加に積極的に取り組む。
- ・指導力向上研修の教科数をさらに増やし、多くの職員が参加できる機会を作る。教育センターの活用による職員研修の充実に努める。
- ・教育相談週間の面談と、教育相談アンケートの効果的な活用を図る。
- ・定期考査時の整容検査と、実施後の改善チェックの徹底。

### 2. 魅力ある学校づくり

- ・学校内の改装・改修により、創立100周年に向けた取り組みを継続的に実施する。
- ・魅力アップの観点からの学校行事の見直し・精選。継続してきた本校独自の大切な行事の確認と発信および改革。（創立記念日、庖丁授与式、戴帽式、針供養 等）熊本県からの「私学の魅力アップ事業」募集へのエントリーの積極的な検討。
- ・「玉名女子フェスタ」第2回目の魅力発信の広報イベントを実施する。開催地の現行実施・拡大検討もする。
- ・本校生徒の頑張りによる数的魅力「数字でわかる玉名女子」を、効果的にさらに外向きに発信する。生徒が周知する機会を作る。HPへのアップ。
- ・文化祭とオープンスクールの同時開催。文化祭毎年実施の継続。
- ・新しいコースの内容の確認を急ぐ（特進コースの開始、アニメ見直し、

食物科の活性化検討)

- ・段階的な教育機器の入替え (PC、エアコン、照明)
- ・体育館の耐震・改修工事は終了したため、今後の丁寧な使用に努める。旧寮は、寮生の増加に伴い改築竣工する。居室では、空き部屋の有効な活用に努める。
- ・創立記念日、看護の日、針供養などの学校行事に関連づけた、卒業生の講演の機会づくり。引き続き女子教育の魅力を考える。

### **3. 文武両道を目指す**

- ・学習活動と部活動の両立を目指し、心身ともにバランスのとれた生徒の育成に務める。部活動生の成績向上への取り組み等、具体的な対策の検討。
- ・職員の働き方改革の視点からも、部活動生の学習量の確保からも部活動実施の時間帯の検討と確認をする。私学としての特性は重視しつつも。
- ・運動部活動生の休養時間の確保にも務める。玉名女子高等学校部活動に係る活動方針の策定を急ぐ。
- ・各部活動の素晴らしい成果を学校外へ知らせる。HPの活性化。学校を挙げての応援活動の推進。
- ・図書館のギャラリースペースを、部活動実績の展示で魅力的に活用する。

### **4. 人権同和教育の推進と楽しい学校環境づくり**

- ・教師一人ひとりの人権感覚の向上のための研修を計画する。
- ・全クラス担任による、人権同和教育授業の実施をする。
- ・生徒の変化に気づき、早期に対応する。システムとしての教育相談をしっかりと活用し、いじめのない環境づくりに務める。
- ・いじめ事案の早期対応と担任任せにしない支援体制の徹底。
- ・読書による心の涵養のため、朝の読書を徹底する。全職員による読書活動の推進。
- ・読書感想文コンクールへの積極的参加。
- ・ボランティア活動の紹介と体験発表の計画。
- ・地震復興支援活動の取り組みの校内報告発表会の検討。